
学校外教育活動に関する調査 2013

－ 幼児から高校生のいる家庭を対象に －

【本調査の特徴】

- 2009年に実施した調査との比較により、4年間の経年での変化がわかる
- 全国の幼児～高校生の子どもを持つ母親、約16,000名が回答した
- スポーツ、芸術、学習にわたる幅広い学校外教育活動および部活動の状況をとらえた
- 各活動の普及状況、活動にかかる費用などの詳細がわかる
- 3歳～18歳までの子どもの発達段階による活動の違いが明らかになる
- 保護者(母親)の教育観と教育選択行動がみえる

調査概要

- **調査名** 学校外教育活動に関する調査
- **調査テーマ** 保護者(母親)の教育観と子どもの学校外教育活動の実態
- **調査対象** 3～18歳(高校3年生)の子どもを持つ母親
16,480名=16学年×515名×2(男子・女子)
約113万人のモニター母集団のうち、子どもを持つ既婚者(20～59歳)28万人に対して予備調査を実施。このうち、1994年度～2009年度生まれの子どもを持つ母親にアンケートの協力を依頼。各年度生まれの男の子、女の子を持つ母親それぞれ515名のサンプルが集まった時点で調査を終了した。
※回答者に子どもが複数名いる場合には、第一子についての回答を求めた。
※第1回調査は3～17歳(高校2年生)を対象としていたため、本レポートでも18歳(高校3年生)を除外して、15,450名を対象に分析を行った。
- **調査時期** 第1回調査 2009年3月下旬
第2回調査 2013年3月下旬
- **調査方法** インターネット調査
- **調査の全体像**

学校外教育活動

■ スポーツ活動

定期的に行うスポーツ活動の種類／活動の頻度
／所属団体の種類／月あたりの費用／スポーツ活動への期待／習い事を選ぶときに重視すること
／親子で行うスポーツ活動の頻度

■ 芸術活動(音楽活動、美術活動、その他)

定期的に行う芸術活動の種類／活動の頻度／所属団体の種類／月あたりの費用／芸術活動への期待／習い事を選ぶときに重視すること／親子で行う芸術活動の頻度

■ 学習活動

● 教室学習活動

定期的に通う塾や教室の種類／活動の頻度／月あたりの費用

● 家庭学習活動

家庭での学習方法や使用教材の種類／活動の頻度／月あたりの費用

■ その他の活動

海外留学・海外体験・自然体験の有無・希望／外遊び・宿題・学習・テレビの時間



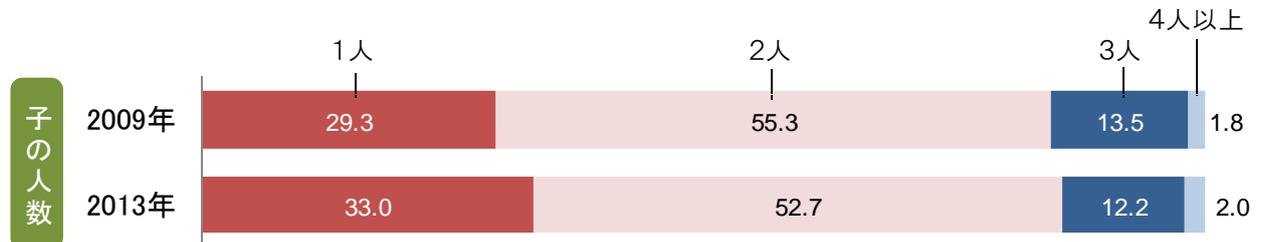
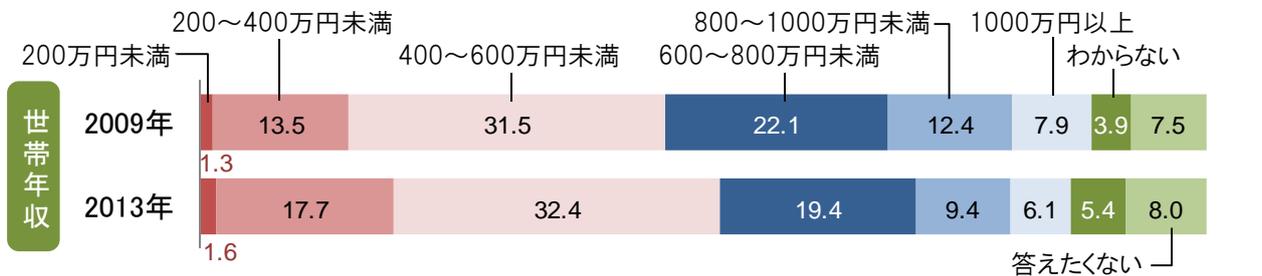
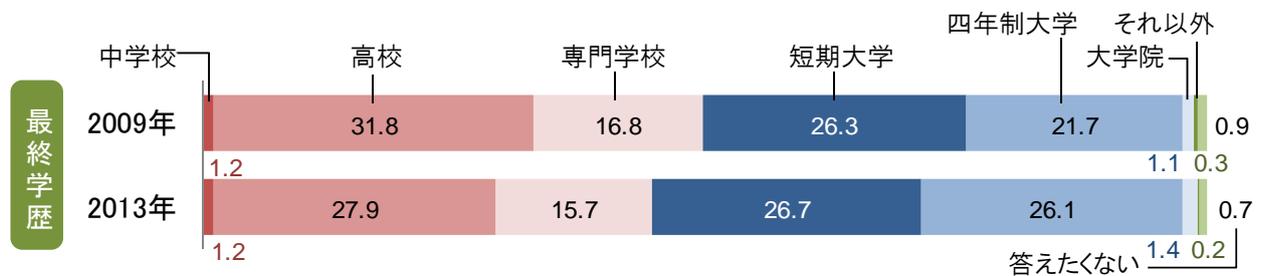
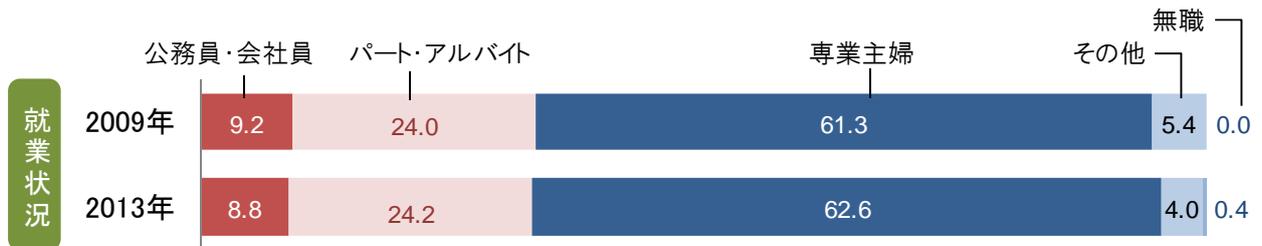
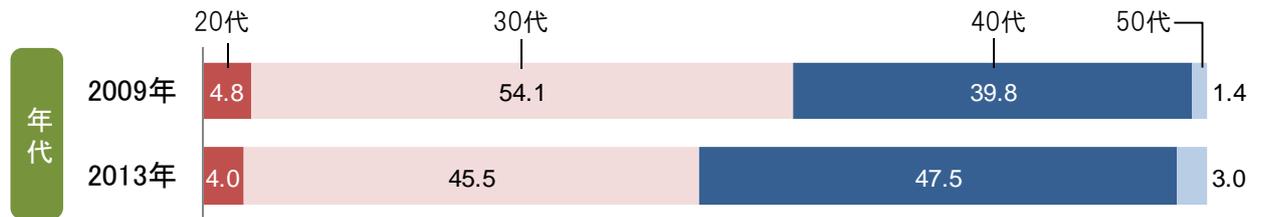
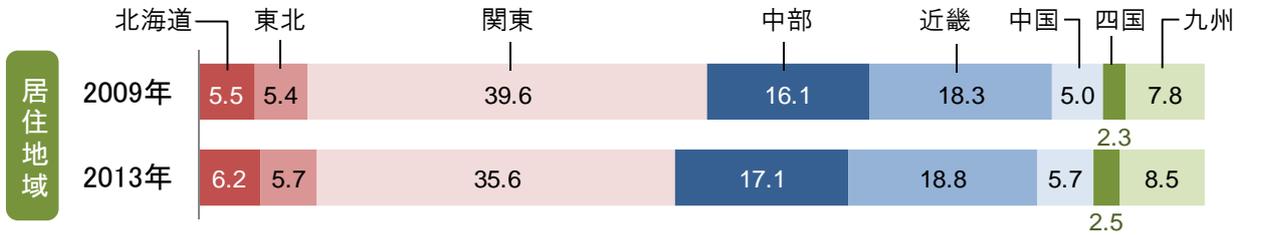
母親の意識・行動

教育にかかる費用(授業料含む)／教育観・教育に対する意見／情報源／ICT機器の利用頻度／希望する進学段階
／中学受験の予定(小学生のみ)／母親自身のスポーツ・芸術活動の志向／母親自身の活動経験

※本調査の「学校外教育活動」には、学校で行われる部活動を含めている。

基本属性

■ 本調査の対象となった母親の基本属性は、以下の通りである。

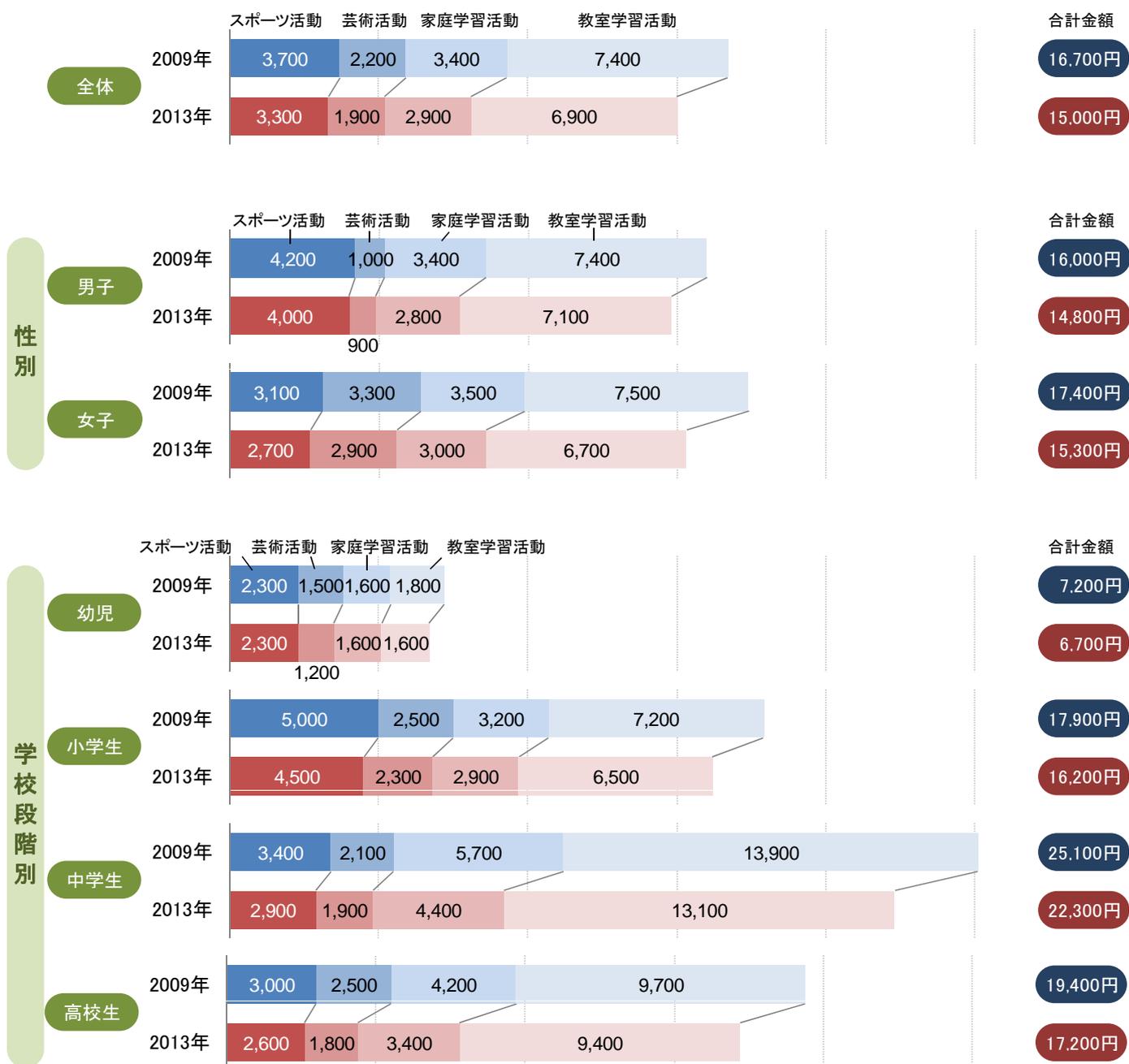


子どもの学校外教育活動にかかる費用

- スポーツ、芸術、家庭学習、教室学習にかかる費用の合計は、月平均15,000円である。
- 2009年調査と比べると、合計金額が1,700円減少した。いずれの活動でも、支出が減っている。
- 男子よりも女子、幼児や小学生よりも中学生や高校生の減少幅が大きい。
- 世帯年収による教育費の差は依然として大きく、小学生は中学受験するかどうかでも異なる。

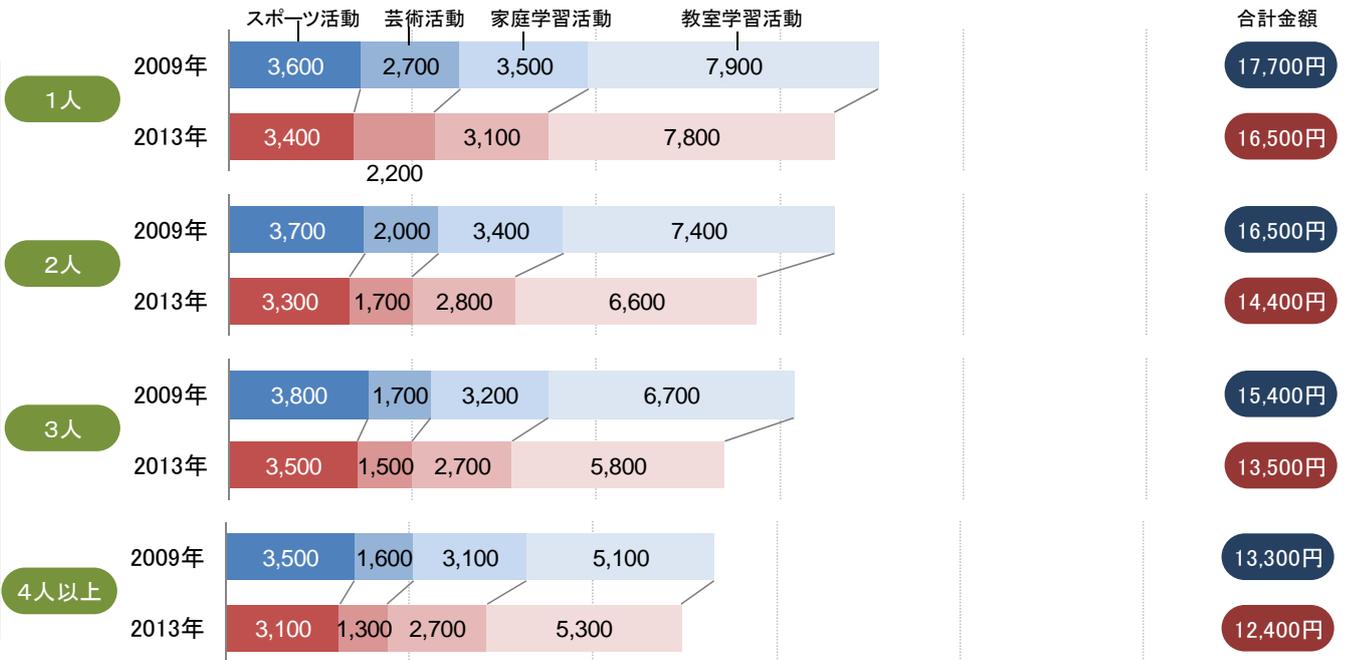
Q それぞれの活動に対して、月にどれくらいの費用を支出していますか。

図1 1か月あたりの学校外教育活動の費用(属性別)

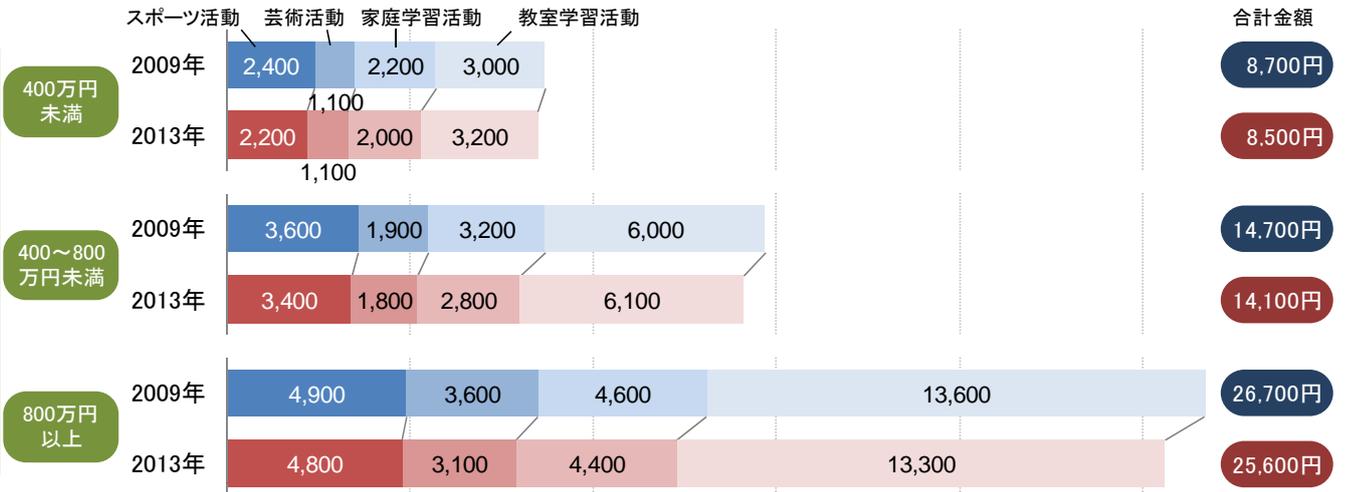


注1 スポーツ活動、芸術活動、家庭学習活動、教室学習活動の費用は、種類ごとの活動費をそれぞれの活動分野別に合計した。活動を行っていない場合は、0円として平均値を計算している。
 注2 2013年調査では家庭学習活動について「知育玩具」「絵本」「幼児向け雑誌」「学習雑誌」「知育・教育のアプリ」を新設したが、経年比較のため2009年調査に揃え、新設項目は除外して集計した。

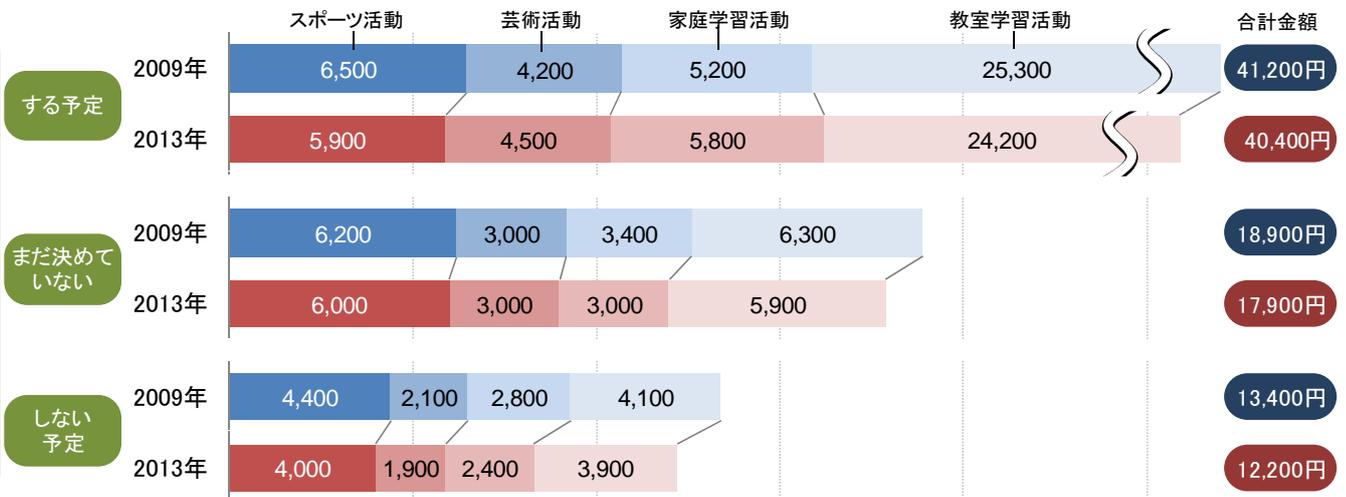
子どもの人数別



世帯年収別



中学受験予定別



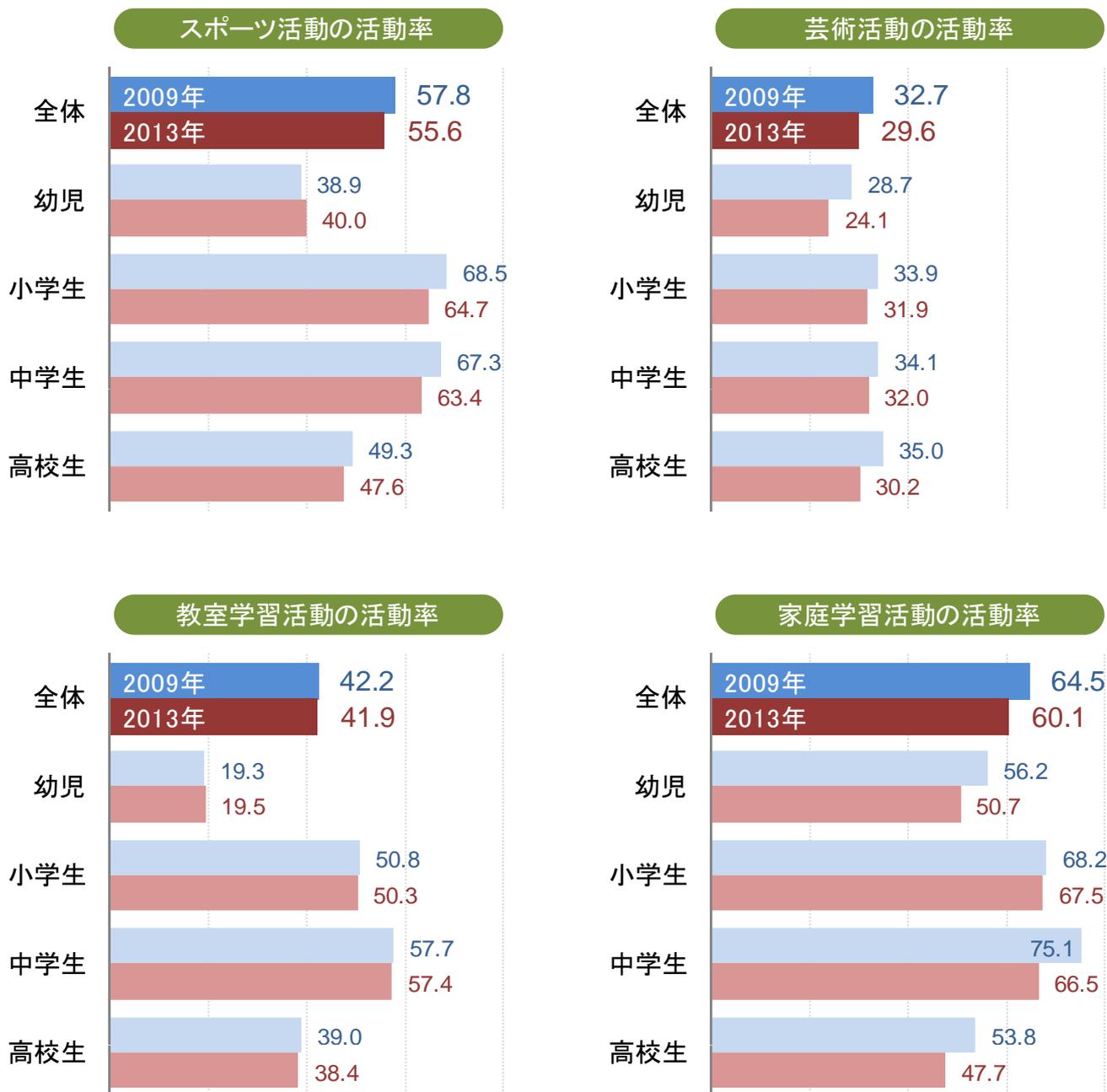
注1 世帯年収は、「ご家庭の世帯年収(税込み)はだいたいどれくらいですか」の回答による。「わからない」「答えたくない」と回答した者は、分析から除外した。
 注2 中学受験の予定は、「お子さまは、中学受験をする予定ですか」の回答による。

■ スポーツ・芸術・学習活動の活動率

- 活動率は大きく変わってはいないものの、わずかに減少する項目が多い。
- スポーツ活動は、幼児と高校生は横ばいだが、小学生と中学生で約4ポイント減っている。
- 芸術活動は、小学生と中学生は横ばいだが、幼児と高校生で4～5ポイント減っている。
- 教室学習活動は変化がない一方で、家庭学習活動は幼児、中学生、高校生で減少した。

Q この1年間で、お子様が定期的に行っていた活動はありますか。

図2 各活動の活動率(学校段階別)



注1 各活動に示した種類を示した選択肢のうち、いずれかを選択した比率(%)。

注2 2013年調査では家庭学習活動について「知育玩具」「絵本」「幼児向け雑誌」「学習雑誌」「知育・教育のアプリ」を新設したが、経年比較のため2009年調査に揃え、新設項目は除外して集計した。

■ スポーツ活動と芸術活動の内容

- スポーツ活動の人気ナンバー1は「スイミング」。幼児、小学生で実施率が高い。
- 中学生と高校生のナンバー1は「テニス」。ただし、人気は分散し、10%に満たない種目が多い。
- 芸術活動の人気ナンバー1は「楽器の練習・レッスン」。小学生以上は2割が活動している。
- 美術にかかわる活動は全体に実施率が低く、もっとも多い「絵画／造形」でも3.5%にとどまる。

Q この1年間で、お子様が定期的に行っていた運動やスポーツはありますか。

図3 スポーツ活動(全体、性別、学校段階別)

	全体	性別		学校段階別			
		男子	女子	幼児	小学生	中学生	高校生
1 スイミング	20.8	① 23.2	① 18.3	① 21.5	① 33.5	5.1	③ 4.3
2 サッカー／フットサル	7.8	② 14.3	1.2	③ 4.7	② 11.6	③ 6.8	3.9
3 体操教室・運動遊び	6.7	③ 7.3	③ 6.1	② 15.8	③ 5.8	0.5	0.3
4 硬式テニス／ソフトテニス	4.6	5.0	4.2	0.3	3.2	① 11.1	① 7.5
5 ダンス	4.0	0.9	② 7.0	3.7	5.0	2.8	3.1
6 硬式野球／軟式野球／ソフトボール	3.7	6.5	0.9	0.2	4.1	② 7.1	4.3
7 バasketボール	3.2	3.7	2.7	0.1	3.4	③ 6.8	3.0
8 陸上競技／マラソン	3.1	3.7	2.5	0.4	2.5	6.8	② 4.6
9 空手	2.9	4.2	1.5	1.4	4.8	2.1	1.2
10 卓球	2.3	2.9	1.7	0.0	1.1	③ 6.8	3.3

注1 複数回答(%)。表では全体の上位10位までを示した。

注2 白抜き数字は順位を示す。表中で同率のものは、小数第二位以下により順位をつけている。

Q この1年間で、お子様が定期的に行っていた音楽活動や芸術活動はありますか。

図4 芸術活動(全体、性別、学校段階別)

	全体	性別		学校段階別			
		男子	女子	幼児	小学生	中学生	高校生
1 楽器の練習・レッスン	18.8	① 9.7	① 27.9	① 9.8	① 23.9	① 21.4	① 18.0
2 絵画／造形	3.5	② 2.7	② 4.2	2.9	② 3.2	② 4.6	② 3.7
3 音遊び／リズム遊び(音楽教室)	2.8	③ 2.2	3.4	② 7.0	1.8	0.4	0.6
4 バレエ	2.1	0.2	③ 4.0	2.1	③ 2.6	1.6	1.4
5 リトミック	1.9	1.7	2.1	③ 6.0	0.7	0.2	0.2
6 合唱／コーラス	1.8	0.9	2.7	0.8	1.6	③ 3.4	③ 2.2
7 茶道	1.1	0.5	1.6	0.8	0.8	1.2	2.0
8 演劇／ミュージカル	0.7	0.4	0.9	0.2	0.4	0.9	2.0
9 写真	0.6	0.6	0.6	0.3	0.3	0.6	1.9
10 華道／フラワーアレンジメント	0.5	0.1	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8

注1 複数回答(%)。表では、全体の上位10位までを示した。

注2 白抜き数字は順位を示す。表中で同率のものは、小数第二位以下により順位をつけている。

■ 学習活動の内容

- 教室学習活動では、小学生は「英会話・英語教室」「習字／硬筆」「そろばん」などが上位。
- 中学生・高校生になると、「進学塾」「補習塾」などの比率が高まる。
- 家庭学習活動では、全体に「通信教育」の比率が高い。
- 幼児では「絵本」「知育玩具」が、小学生以上では「市販の参考書・問題集」などが上位である。

Q この1年間で、お子様が定期的に通っている塾・教室はありますか。

図5 教室学習活動(全体、性別、学校段階別)

	全体	性別		学校段階別			
		男子	女子	幼児	小学生	中学生	高校生
1 受験勉強をするための塾(進学塾)	12.0	① 12.8	② 11.2	0.1	8.2	① 29.6	① 20.6
2 英会話・英語教室	11.1	② 10.5	① 11.8	① 9.7	① 14.9	③ 9.8	4.6
3 習字／硬筆	7.4	5.2	③ 9.6	1.7	② 13.0	6.1	4.0
4 学校の補習をするための塾(補習塾)	6.1	③ 6.2	6.1	0.2	5.7	② 13.6	② 8.0
5 そろばん	4.3	3.8	4.9	0.8	③ 8.7	2.6	1.1
6 計算や漢字などのプリント教材教室	4.2	4.4	3.9	② 2.6	6.9	2.8	1.0
7 学校が行う補習教室(放課後や土日など)	2.3	2.2	2.4	0.8	1.7	2.8	③ 6.7
8 算数・数学教室	1.7	1.6	1.8	0.6	2.8	1.6	0.7
9 能力開発のための幼児教室	1.1	1.2	1.0	③ 2.3	1.0	0.4	0.2
10 国語・作文教室	0.9	0.9	0.8	0.7	1.5	0.5	0.0

注1 複数回答(%)。表では全体の上位10位までを示した。

注2 白抜き数字は順位を示す。表中で同率のものは、小数第二位以下により順位をつけている。

Q この1年間で、お子様が家庭でしている学習方法や使っている教材はありますか。

図6 家庭学習活動(全体、性別、学校段階別)

	全体	性別		学校段階別			
		男子	女子	幼児	小学生	中学生	高校生
1 通信教育	34.7	① 33.2	① 36.2	③ 31.0	① 43.3	① 32.8	② 18.7
2 市販の参考書・問題集	21.5	② 21.3	② 21.7	17.9	② 22.5	② 23.8	① 22.1
3 絵本	17.8	③ 17.1	③ 18.5	① 54.1	8.0	0.5	0.6
4 知育玩具	10.6	10.8	10.4	② 34.1	3.5	0.4	0.2
5 塾の参考書・問題集	10.2	10.3	10.1	1.0	③ 8.5	③ 22.9	③ 14.7
6 幼児向け雑誌	9.0	7.9	10.1	30.7	1.8	0.3	0.2
7 パソコンを用いて学習する教材	4.2	4.1	4.2	3.3	5.0	4.3	3.4
8 学習雑誌	3.4	3.4	3.4	6.4	3.7	0.7	0.5
9 知育・教育のアプリ	3.4	3.3	3.5	9.4	1.9	0.4	0.3
10 携帯ゲーム機用の学習ソフト	3.0	2.8	3.3	3.0	3.2	4.2	0.9

注1 複数回答(%)。表では、全体の上位10位までを示した。

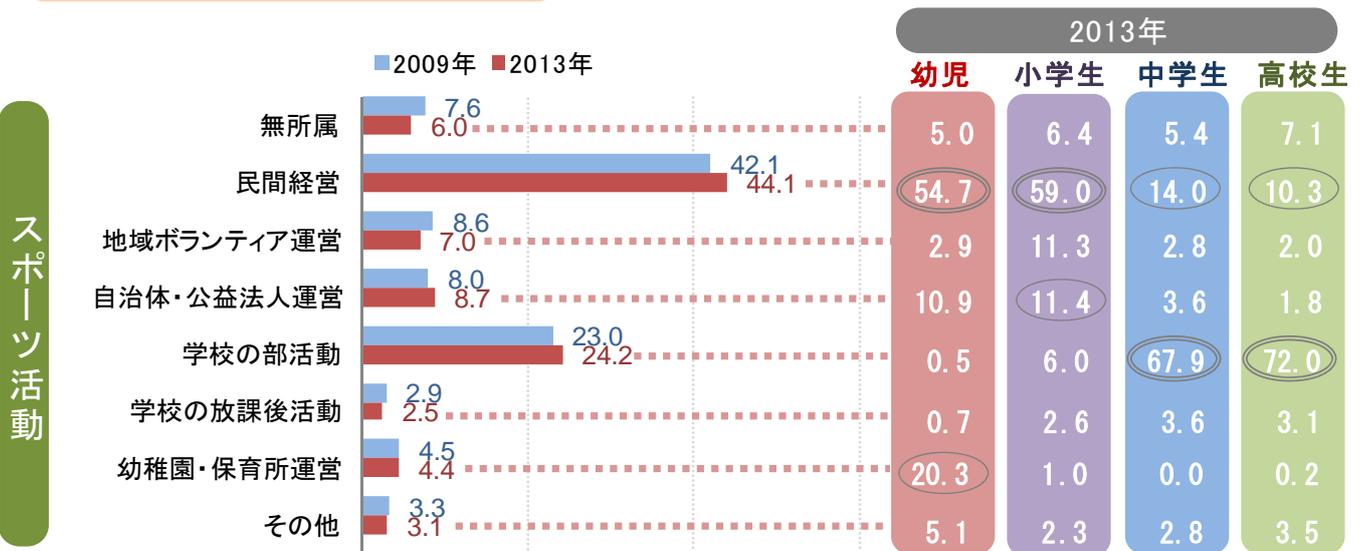
注2 白抜き数字は順位を示す。表中で同率のものは、小数第二位以下により順位をつけている。

■ 活動の場所

- スポーツ、芸術の活動場所は、2009年から大きく変わっていない。
- スポーツ活動、芸術活動ともに「民間経営」が最多で、「学校の部活動」が続く。
- 幼児と小学生は「民間経営」の場所で活動することが多く、中学生と高校生は「部活動」が多い。
- 幼児は「幼稚園・保育所運営」の活動がおよそ2割を占める。

Q お子様は、どのような団体(教室)に所属して、運動・スポーツを行っていますか。

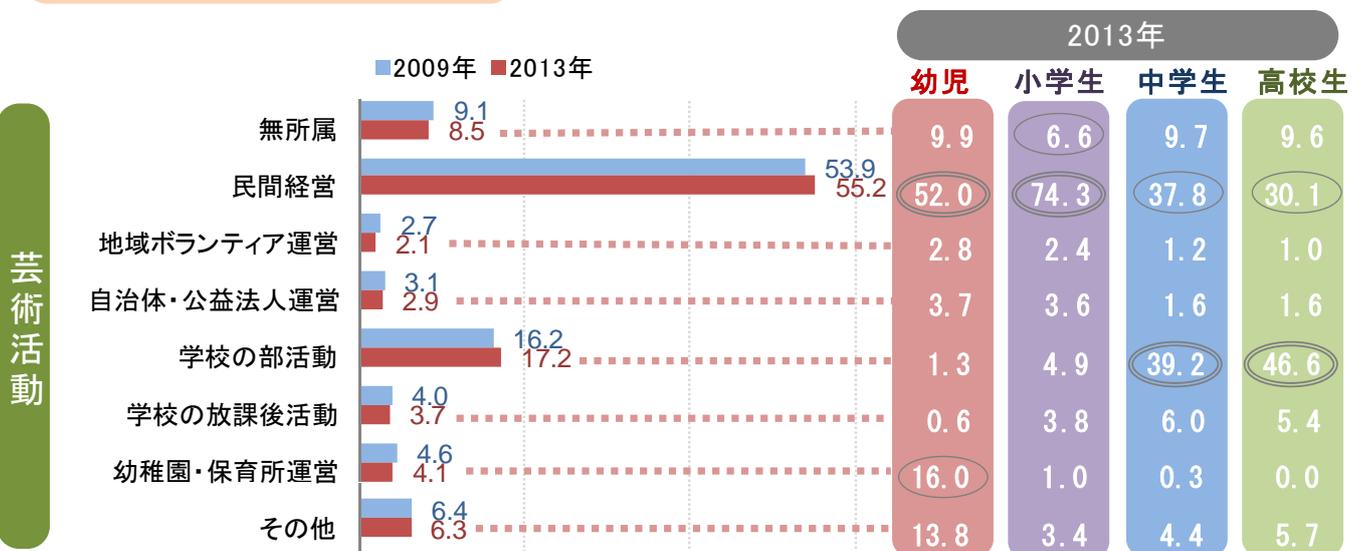
図7 スポーツ活動の場所(全体、学校段階別)



注1 スポーツ活動をしている人の所属団体を全て足し合わせて算出した。同じ人が複数の活動をしている場合は、それぞれ1としてカウントしている。
注2 表中◎は学校段階別で最大値、○は2番目の値。

Q お子様は、どのような団体(教室)に所属して、音楽活動や芸術活動を行っていますか。

図8 芸術活動の場所(全体、学校段階別)



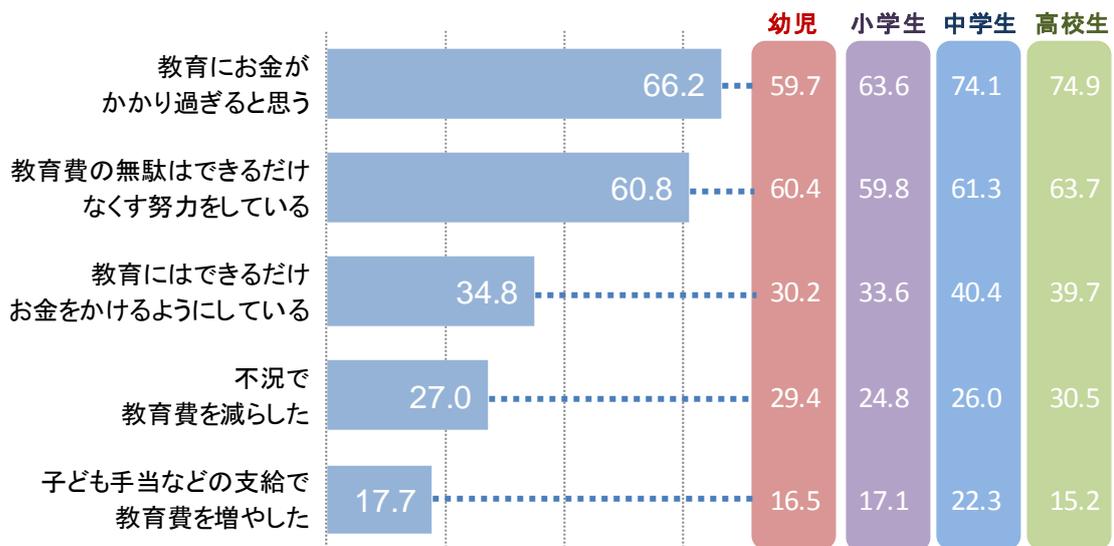
注1 芸術活動をしている人の所属団体を全て足し合わせて算出した。同じ人が複数の活動をしている場合は、それぞれ1としてカウントしている。
注2 表中◎は学校段階別で最大値、○は2番目の値。

■ 負担感

- 3人に2人が「教育にお金がかかり過ぎると思う」と回答しており、多くが重い負担感をもっている。
- 4人に1人は「不況で教育費を減らした」と回答。経済的な影響も大きい。
- スポーツ活動の「活動にかかる費用の負担が重い」の肯定率は6割を超え、わずかに増加。
- 芸術活動も同様に6割弱が「活動にかかる費用の負担が重い」と回答。

Q 教育費の支出について、次のようなことはどれくらいあてはまりますか。

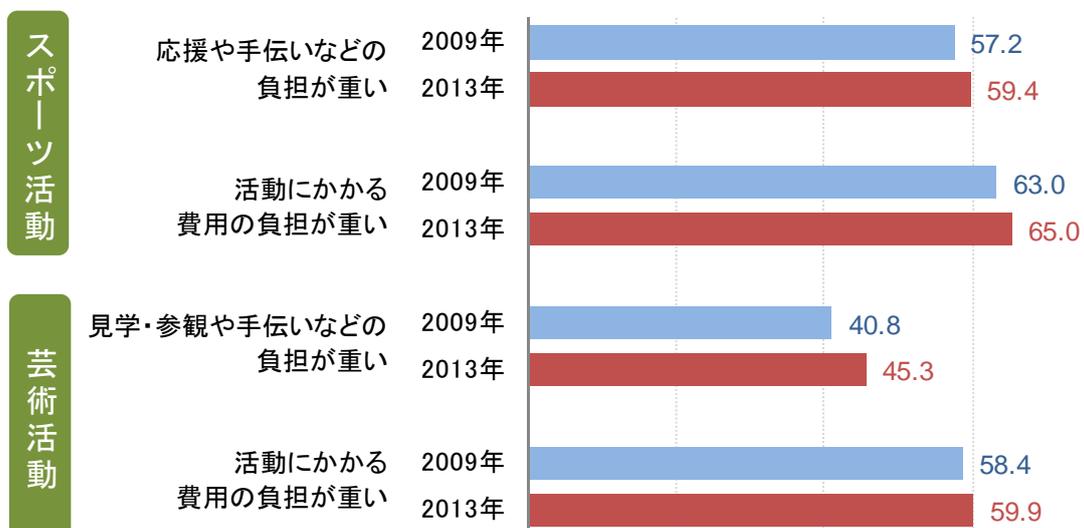
図9 教育費の支出について(全体、学校段階別)



注1 数値は「とてもそう」と「まあそう」の合計(%)。
注2 2009年調査ではたずねていない。

Q お子さまの運動やスポーツ、音楽や芸術(美術)にかかわる活動に関して、あなたはどのように思いますか。

図10 活動に対する負担(全体)



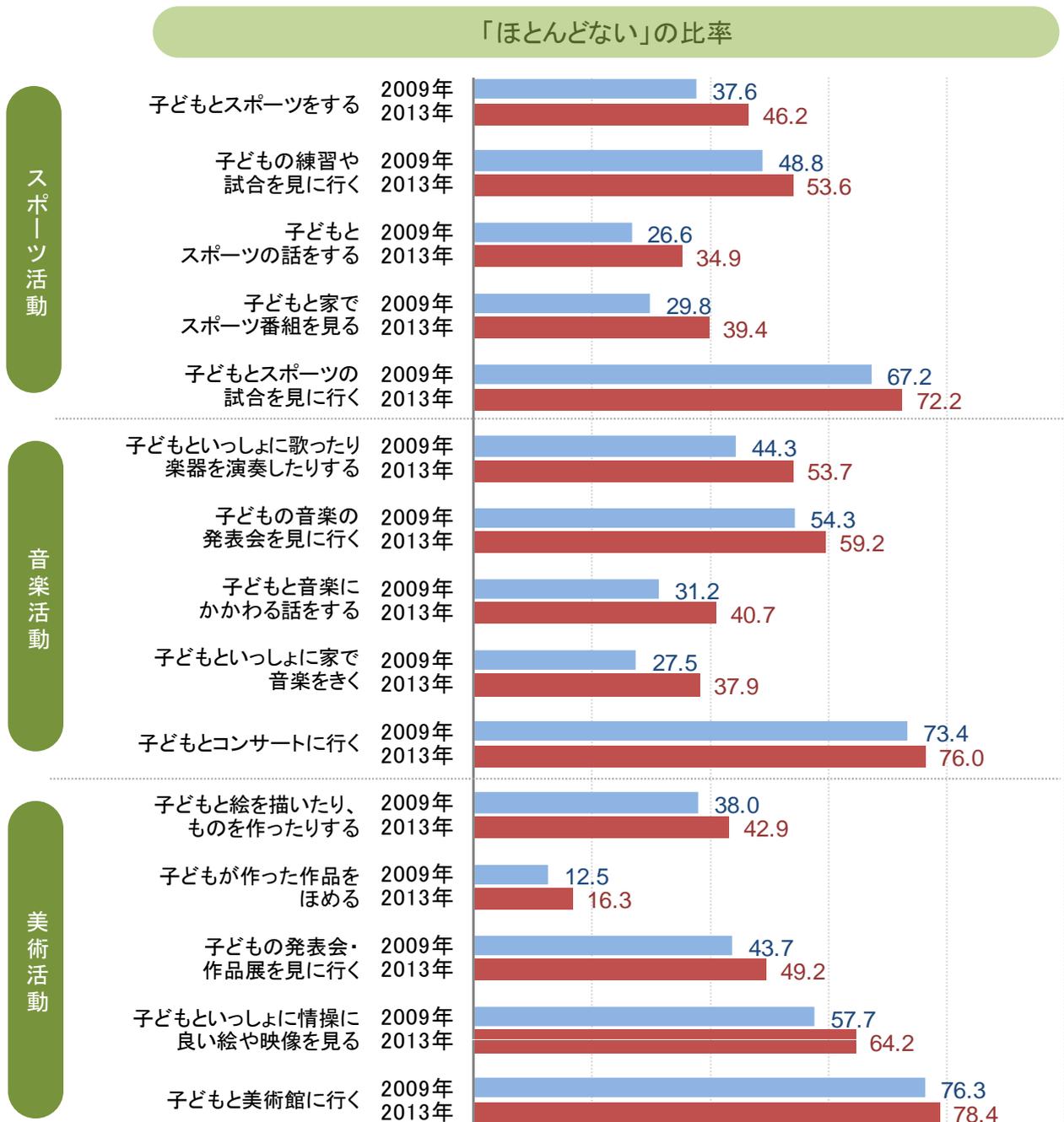
注1 数値は「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計(%)。

親子の活動

- 「子どもとスポーツをする」ことが「ほとんどない」のは、37.6%→46.2%と8.6ポイント増加。
- 「子どもといっしょに歌ったり楽器を演奏したりする」も同様に「ほとんどない」が9.4ポイント増加。
- 「子どもと絵を描いたり、ものを作ったりする」も「ほとんどない」が4.9ポイント増加。
- スポーツや芸術に関して親子がいっしょに行う活動が、全体に希薄になっている可能性がある。

Q お子様の活動について、あなたやあなたの配偶者は、次のようなことをすることがありますか。

図11 親子の活動(「ほとんどない」の比率、全体)



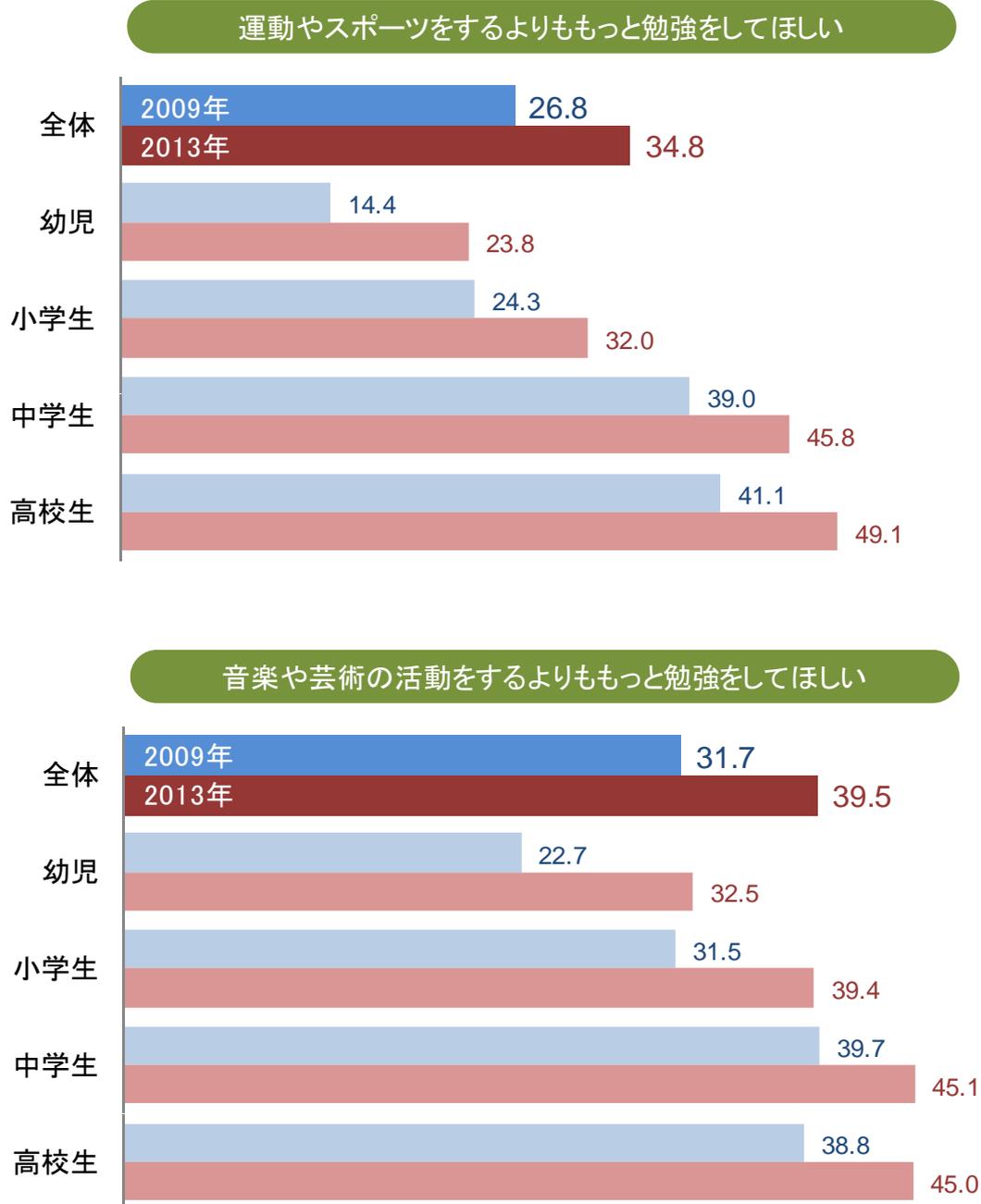
注1 数値は「ほとんどない」と回答した比率(%)。

■ スポーツ・芸術活動と学習活動についての考え

- 「運動やスポーツをするよりももっと勉強をしてほしい」は26.8%→34.8%と8.0ポイント増加。
- 「音楽や芸術の活動をするよりももっと勉強をしてほしい」は31.7%→39.5%と7.8ポイント増加。
- 学年が上がるほど、「もっと勉強を」を肯定する比率が高まる。
- 2009年との比較では、幼児の伸び率が高い。幼児の保護者に知育を重視する傾向が強まった。

Q お子さまの運動やスポーツ、音楽や芸術(美術)にかかわる活動に関して、あなたはどのように思いますか。

図12 スポーツ・芸術活動と学習活動についての考え(学校段階別)



注1 ※数値は「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計(%)。

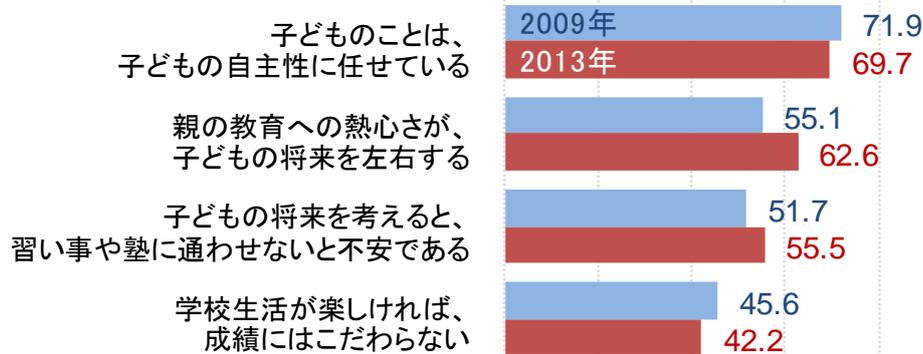
■ 教育観

- 「親の教育への熱心さが、子どもの将来を左右する」が55.1%→62.6%と7.5ポイント増加。
- 「学校生活が楽しければ、成績にはこだわらない」は45.6%→42.2%と3.4ポイント減少。
- 「子どもには仕事に役立つ資格や技能を身につけさせたい」は94.0%と、多くの保護者が肯定。
- 学校(園)に対する意識や評価は、大きく変化していない。

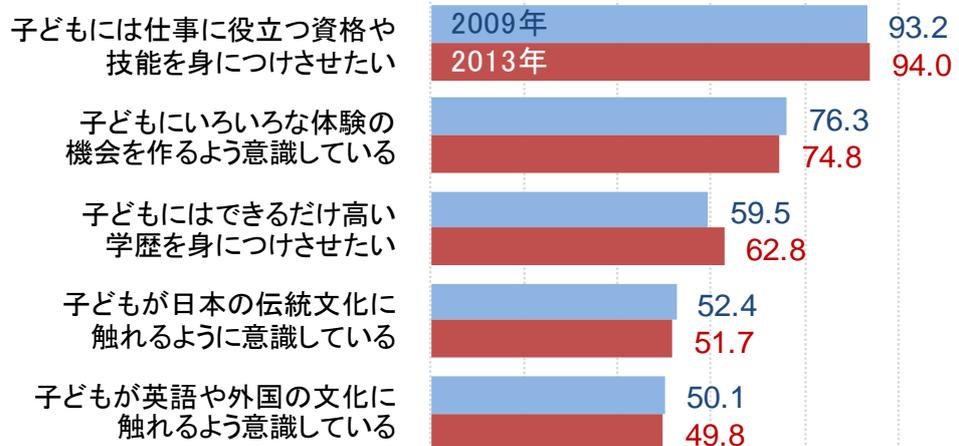
Q お子様の教育について、どのようにお考えですか。

図13 教育についての考え(全体)

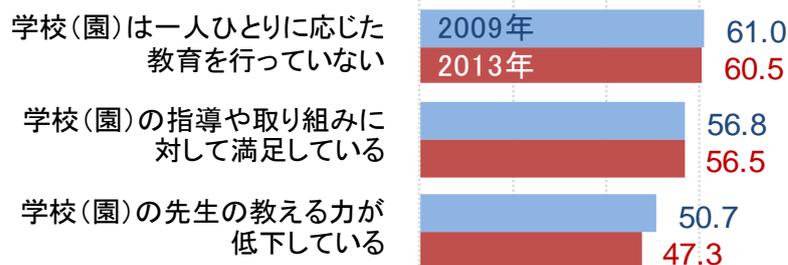
教育観



身につけさせたい力



学校(園)評価



注1 ※数値は「とてもそう」と「まあそう」の合計(%)。

学校外教育活動に関する調査 2013

調査企画・分析メンバー

片岡	栄美	駒澤大学 教授
西島	央	首都大学東京 准教授
都村	聞人	東京福祉大学 専任講師
木村	治生	ベネッセ教育総合研究所 初等中等教育研究室長
持田	聖子	ベネッセ教育総合研究所 研究員
佐藤	昭宏	ベネッセ教育総合研究所 研究員

※所属・肩書は2013年6月時点のものです。

● ベネッセ教育総合研究所 のWEBサイトのご案内 ●

本調査の調査票・集計表およびベネッセ教育総合研究所で実施している各種調査結果は、以下のサイトでご覧いただけます。

<http://berd.benesse.jp/>

こちらのサイトは で検索できます。

◆ 本調査の詳細な分析について ◆

今後、本調査のデータをテーマ別に分析し、結果をウェブサイト上に連載形式でご紹介していきます。本資料ではご紹介しきれなかったデータや多様な分析結果はこちらでご覧ください。

2013年6月28日にWEBサイトをリニューアルいたしました

● お問い合わせはこちらまでどうぞ ●

〒206-8686 東京都多摩市落合1-34
株式会社ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所
電話 042-311-3390（受付時間 10:00-17:00 土日、祝日と12:00-13:00除く）

「学校外教育活動に関する調査 2013」データブック

発行日：2013年6月28日 発行人：岡田晴奈 編集人：谷山和成
発行所：(株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所